

平成18年度に認証基準を策定する品目について

	検討認証品目	事業者	現 状	考慮すべき点
農 産 加 品	豆腐	4 2 8	・輸入、国産大豆などを使用した商品も多いが、道産大豆を使用している商品も近年増加してきている。	・道内業者が道産大豆の安定入手に支障が生じている。 ・中小業者が多く、認証取得への経済的な問題がある。
	納豆	6 2	・道産大豆を使用している商品はある。	・道産大豆原料の安定供給が難しい。 ・中小業者が多く、経済的な問題がある。
	醤油	2 6	・道産大豆、小麦を使用している商品はある。	・道産大豆原料の安定供給が難しい。 ・道産大豆、小麦を使用している工場及び商品が少ない。
	焼酎	7	・道産原料を使用している商品が増えてきている。	
	果実ジュース	2 3 2	・道産原料を使用している商品が増えてきている。	・小規模の工場や工房的な事業者が多い。 ・経済的な問題がある。
	野菜ジュース	2 3 2	・道産原料を使用している商品が増えてきている。	・小規模の工場や工房的な事業者が多い。 ・経済的な問題がある。
酪 農 畜 産	牛乳	8 5	・道産原料を使用している商品が多数ある。	・個性的な商品設定が難しい。
	バター	8 5	・道産原料を使用している商品が多数ある。	・個性的な商品設定が難しい。
	ヨーグルト	8 5	・道産原料を使用している商品が多数ある。	・製品種類が多数ある。
水 産 加 工	たらこ	不明	・高品質のたらこのほとんどは、道産である。	・道産原料が少なく、ほとんどが輸入原卵である。
	ほっけの開き	不明	・全道的に製造している。	・魚体の規格、品質が一定ではない。 ・小規模業者が多い。
	ほたて加工品	不明		・限定された地域での製造となる。 ・生、冷凍、乾燥が多く、加工品の種類、数量が少ない。

平成16年度消費者、事業者調査等による。